

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 6 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473600371		
法人名	社会福祉法人 三篠会		
事業所名	グループホーム甲田		
所在地	広島県安芸高田市甲田町下小原3363番地 (電話) 0826-45-7777		
自己評価作成日	平成28年5月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3473600371-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年6月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの思いに沿った支援を行うため、ご利用者やご家族の希望を聞き、落ち着いた生活が送れるよう、その人らしさを活かしたケアを行っている。また、地域との結びつきを保持するために、地域の方々と協力し、施設入居による馴染みの方との交流が途絶えないような工夫や交流の場の提供などを実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員は、利用者が毎日楽しく、笑顔で過ごして頂きたいと考えている。利用者の要望に耳を傾け、利用者がその人らしく生活できるように支援している。利用者との個別対応を重視し、年1回程度、利用者が希望する場所への外出を実施している。週1回のショッピングセンターでの買い物、外食や花見などの遠出外出を楽しんでいる。また菜園では、一緒に作物を育て、収穫した野菜を食事に利用している。地域住民にホームをもっと理解して頂きたいと考え、おはぎを一緒に作ったり、小学生と餅つきを行うなどの取り組みを行っている。地域住民との交流も活発で、花田植えなどの地域行事、総合施設が主催する「さくら祭り」では利用者が行事に参加して、交流を通じて馴染みの方との関係を継続する機会となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念、部署目標に基づき、利用者処遇や職員のケアに対する意識統一を図っている。またミーティングや申し送り時に必ず確認するようにしている。	法人の理念は、詳細がハンドブックに記載されており、それを職員が所持している。年に一度、法人理事長が理念に関する講義を行っている。法人理念の下に、今年度の事業所目標を作成し、それに沿った個人目標を立て、半期に一度評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には職員と一緒に参加している。春には施設主導のさくら祭りを開催し、地域の方にもご協力いただくことで、地域の方との交流の場として開放している。また、秋に地域の祭りがあり、参加していただき利用者様と地域の方と交流を持てるよう配慮している。	利用者と地域住民との交流は活発で、総合施設内の交流スペースでは小学生や保育園児、囲碁ボランティアとの交流がある。花田植えやふれあい感謝祭などの地域行事には利用者が参加し、知人との交流を楽しみにしている。総合施設主催の「さくら祭り」では、地域住民が模擬店を出し、利用者と一緒に楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、全利用者様に参加をさせていただいており、地域の方との会話の中で理解を得ている。地域の民生委員や振興会役員の方にも参加していただくことで情報交換を行っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年4回定期的に開催している。その間の3か月間の出来事などを皆様に報告し、今後のサービス向上のために意見交換をしている。	運営推進会議は、毎回、利用者が参加して行われている。年に1回、家族交流会と同日に開催、出席者が食事を共にし、意見交換している。会議では、より多くの家族に参加してもらおうと、音楽療法の先生を招くなどの企画を立て実施しているが、まだ、家族の出席は少ない。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	行政担当者とは運営推進会議を通じて事業所の実績やサービスの取組み等定期的に情報交換を行っており連携、質の向上に努めている。	運営推進会議に市職員が出席するので、その際に意見交換し、情報を得ている。市主催の「介護サポーター研修会」では、総合施設職員が講師として協力している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・玄関の施錠は行っていない。</p>	<p>身体拘束に関しては、年に2回行われる施設内研修で勉強している。現在、ホームでは、身体拘束は行われていない。外部研修に参加した職員は、「身体拘束に関する新しい考え方」を学んで伝達講習を行い、それを基に「身体拘束マニュアル」の改訂を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>普段より職員が虐待について勉強し、個々の意識を高め、利用者様が安心して生活できるよう心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修で学ぶ機会があり、研修資料等は閲覧できるようファイルしてある。又必要な方には支援できる体制にある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退所時に面接や調査を行い、説明、納得の上、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議だけでなく家族会などを定期的に開催することで、利用者様ご家族からの意見を伺えるように、機会を設けている。</p>	<p>家族が来訪された際に家族の意見・要望を聞いている。また、年1回の「家族交流会」では、出席者全員に意見を述べて頂いている。家族からの苦情は今のところないが、「電灯が切れている」「食事の味」などの家族の要望を総合施設の各部署で取り上げ検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員面談等、定期的に意見を聞く機会を設けており、その機会以外でも随時対応している。	毎月の職員会議は、全職員が出席し行われるが、その際に職員の意見を聞き、その後、代表者会議でも、職員の意見を報告している。職員からの要望で、机・ソファなどの配置を変更し、利用者が移動しやすくなった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の業務評価において面接を行い、職員個々の意見を聞く機会を設けている。その中で個人目標を設定し、各自の意欲向上を図るとともに、意見交換を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外への研修参加の機会を設けており、業務改善に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	関連事業所と研修会や交換実習等を通して、交流や意見交換し、業務改善に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用開始前に本人と家族・職員を含めた事前面談を行い、要望や不安な点等を聞く機会を設けている。利用開始後も本人の訴えに応じて傾聴し、思いを汲みとり、納得していただけるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前の事前面接を通して、本人・ご家族と話し合いの場を設けることで不安を取り除けるよう努めている。利用開始後も運営推進会議や家族会を通し、話を聞き、思いを知る努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>専門職が連携を取りながら、本人や家族と情報交換を行い、本人の希望に沿えるよう努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>毎日の生活において、本人の生活歴を通し、個人個人に合った役割や得意な分野を見出すことで、それぞれの思いが尊重できるよう心掛けている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族会や運営推進会議を定期的を開催することで、利用者様の近況報告を行っている。外出等に関しては、家族の理解を得ながら、関係を保っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>施設関係者以外の来園に対しての受け入れを行っている。また、地域の祭りへの参加や施設内での祭りなどの行事にも、地域の方に参加していただくことで、馴染みのある方との交流を支援している。</p>	<p>利用者は、近隣地域で生活していた方が多いので、地域行事に参加し、地域住民と交流することで、今までの馴染みの関係を継続している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中で、行事や外出を通して交流を持ち、仲間としての意識や関わりを持つ機会が持てるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、退所後の受け入れ先等の相談や調整を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の生活において、本人の希望や意向を把握するために、しっかりと関わりを持つことで、本人への理解を深め、本人に合った生活環境の提供ができるよう検討している。	日常生活の話から得られた利用者の思い・意向は、連絡ノートに記載したりミーティングで話し合いを行い、職員間で情報を共有している。絵を描くことが趣味の利用者は、ホームで作品を完成させ、法人のカレンダーに採用された実例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルの内容充実等により、情報収集に努め、個人の生活歴の把握を行うようにしているが、核家族化にて、連絡が取りづらいという現状もあり、情報不足の点もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人個人の記録票を作成し、生活面での注意点・趣味・パーソナリティの把握に努め、情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員の意見や、気づきなどを日々記録し、家族の意向を取り入れて介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を配置し、担当者はケアプランの原案を作成している。その後、ケアカンファレンスで他職員の意見を取り入れ、最終的にケアプラン作成者がケアプランを作成している。モニタリングも担当者が行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日、個々の生活状況を記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存のサービスに捉われないことなく、本人の状態の変化などにも合わせ、個々のニーズに対応する柔軟なサービス提供を心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事に参加したり、地域の方との交流会を持つよう、利用者が生き生きと生活していただけるよう支援に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者・ご家族の希望を重視し、適切な医療機関に受診していただけるよう支援している。</p>	<p>本人・家族の要望でかかりつけ医を決めている。体調不良時には、看護師に連絡し、各医師に相談し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の状態を把握し、報告している。服薬や健康管理に気を配り連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>随時、医療関係者と連絡を取り合っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医の指示のもと本人、家族、職員と話し合いを行っている。</p>	<p>ホームとしては、利用者が重度化し24時間医療対応が必要になれば、ホームでの対応が困難であり、他の機関で適切な対応を行ってもらう方針である。このことは、利用開始時に家族に説明している。現在ホームでは、医療対応が常に必要でないが、重度化した利用者を見守りながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>日頃から医務室との連携を図り、定期的な救急講習を受けている。救急マニュアルにも目を通し、職員の意識付けをするよう心掛けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練を実施しており、地域の自主防災訓練にも参加している。</p>	<p>年2回、消防署の立会いの下に、総合施設合同の避難訓練を行っている。その内1回は、夜間を想定した訓練である。災害が生じた際には、施設内部署と連絡を取り、協力する体制が整っている。ホーム内の避難通路には物を置かない、非常口は施錠しないことを確認している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の人格や誇り、プライバシーに関して損なわれることがないよう配慮し、記録の取り扱いについても慎重に行っている。	利用者の今までの生活をよく理解して、利用者の人格を尊重し、その方の行動を否定せず見守っている。個人記録の管理には十分に注意を払い、利用者の個人情報外部に漏れないように徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人自ら行動し、意思決定できるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせた暮らしが送れるよう、その人らしい生活の支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人らしさやその人の好みのおしゃれを出来るだけ提供するよう、心掛け支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の好みについては、利用者に嗜好調査を実施している。食事の準備や後片付けはお手伝いいただきながら、一緒に関わりを持っている。	献立は予め作成されているが、利用者の嗜好・食べられない食材に関する情報を管理栄養士に報告し、献立に反映している。毎月2回、「調理の日」を設け、巻き寿司やソーメンなど、利用者が要望する食事やおやつをホーム独自で提供している。毎月1～2回、外食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態を個人に合ったものを提供することで、栄養面だけでなく食事量の確保に努めている。水分摂取もこまめに提供することで、摂取量の確保に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、一人ひとり口腔ケアの声掛け、促しを行い実施している。自分で口腔ケアが困難な方には、職員が介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、夜間とその方に合わせたトイレ誘導を行い、リハビリパンツ・尿とりパットへの失敗の軽減に努めている。またトイレ誘導時には蒸しタオルでの清拭を行い、気持ちよく排泄していただけよう心掛けている。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。しかし、排泄間隔が長い方には、声掛けをして、トイレ誘導している。衛生用品に関しても、利用者に適した物と頻度を考慮して、使用量の削減に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日、午前・午後とラジオ体操やリハビリ体操等の運動を行い、水分補給にも気を付けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、部署の生活支援に沿って、行事等との調整を行いながら、らゆっくりと楽しんでいただけるよう入浴していただいている。</p>	<p>週に2回程度入浴を行っているが、身体状況に応じて、毎日入浴するなど、柔軟に対応している。入浴嫌いな方には、強制せず、時間を変更して対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>利用者の生活リズムを尊重しながら、散歩や体操等を通じて、心地よい疲労感を感じていただけるよう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>個人の服薬ファイルを作成し、職員全員が目を通すことで意識を高め、服薬に対する認識をきちんと持つよう努めている。状態に応じて、職員間で話し合い、必要に応じて看護師に指示を仰いでいる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの能力や、今までの生活歴等を参考にしながら役割を見つけ、楽しみながら生活できるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>事業所の裏庭には季節に合わせた菜園や花づくりができるよう整備し、一緒に取り組めるよう配慮している。また、個別ケアを通して本人の希望を伺い、レクリエーション等の支援をしている。</p>	<p>週1回、近隣のショッピングセンターに行き、買い物を楽しんでいる。また、年に数回、花見などの遠出外出も行っている。利用者との個別対応を重視し、年に1回程度、利用者が希望する場所への外出を実施している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人や家族の希望があれば支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間は1日に3回、利用者とともに清掃を行い、清潔を保つようにしている。ホールには外出行事の記念写真を置き、毎日の生活活動の制作品等を飾るなどし、利用者の安らげる場所づくりを心掛けている。</p>	<p>毎日、掃き掃除やモップでの床掃除を利用者と一緒に行い、室内を清潔に保つように努めている。利用者の動線を考慮して、テーブルやソファの位置を変更し、生活し易い環境を整備している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事や談話、テレビを楽しむスペース等を設け、利用者同士で思い思いに過ごせる場の提供に努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人やご家族と相談しながら、在宅等で使用されていた馴染みのものを持ち込んでいただく等して、本人が安心して過ごせる居心地のよい部屋となるよう工夫、協力している。</p>	<p>今まで使用していた愛着のある物を持参して頂くようお願いをしている。人形、ペットの代わりにぬいぐるみを持参される方もあり、それぞれ快適に過ごせるように室内を整備している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>生活上の注意点、趣味などを知り、スタッフ間で情報共有し、サービス向上に努めている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム甲田

作成日 平成28年8月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は、安芸高田市高齢者福祉課・民生委員児童委員協議会委員・地域の振興会役員・ご家族・入居者に参加していただき定期的に開催しているが、ご家族の参加率が低く意見交換の場としてあまり機能していない。	ご家族の出席者率の向上・活発な意見交換の場となり、意見を事業所のサービスの質の向上に繋げる。	以前からの課題であり、ご家族の参加率・疑問点やサービス内容等に関する意見などが少ないため、運営推進会議の内容・日程を考慮し案内を送付する段階から来ていただけるような広報活動も盛り込み実施する。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。